

2章

指導計画

1 教員主導から主体的学習へ

初期段階では、生徒が適切に活動するように、教員が主導的に指導しなければならないことがあるが、可能な限り生徒が自ら考え、仲間と協力して活動するように工夫する。

例えば押しの学習では以下の流れで進める。

技術的な指導を受けずに、押し合い相撲を楽しむ

どうしたら相手を押せるかについてグループ討議する

（生徒が低い姿勢から押し上げることの重要性に
気づくように、教員が適切に助言・支援する）

グループ討議で気づいたことを、押す側と受ける側を決めて練習する

簡易試合を行い、学習した押し方で相手を押してみる

2 基本動作

●塵浄水（ちりちょうず）※詳細は付属DVD参照

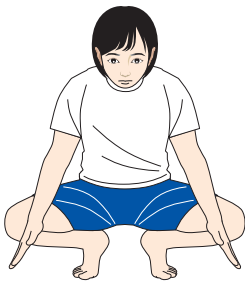
<要点>

- ・そんきよしせい 蹲踞姿勢を維持する
- ・大きく両腕を開く

※塵浄水は相撲に特有な礼法であり、相手を尊重し、真剣勝負を重ねる気持ちをこめて、一つひとつの動作を丁寧に行えるようにする。

※両手の平のすり合わせは難しいので、過度の習熟を求めないように注意する。

①



蹲踞姿勢から上体を前傾し、両腕をハの字に開いて、下ろす

②



胸の前で右手上、左手上の順で両手の平をすり合わせる

③



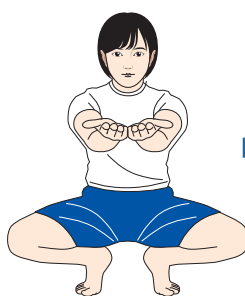
小さく円を描くように、両手を回す

④



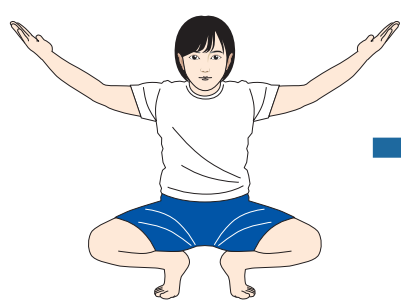
一回手を打つ

⑤



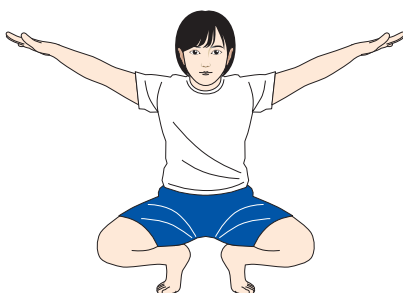
手の平が上に向くように、両手を開く

⑥



両腕を左右に大きく広げる

⑦



手の平を下に向ける

塵浄水の元来の意味

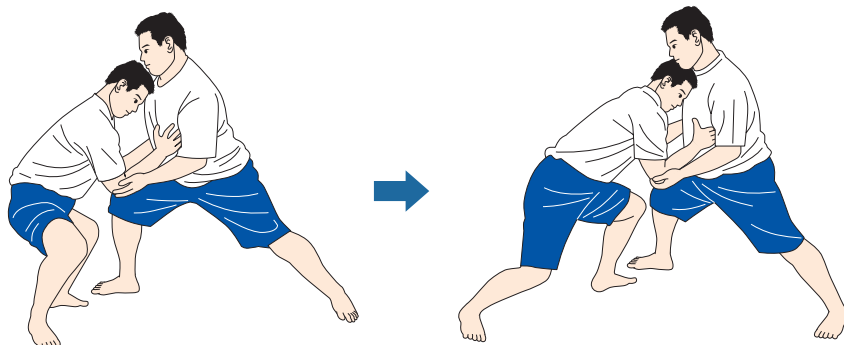
下草の露で手を清めたうえで、自分が武器を持たずに正々堂々と戦うことを、天地に誓う。

3 基本となる技の学習

(1)押し

<要点>

- ・中腰の構えを維持する
- ・すり足で前へ出る



(2)寄り

<要点>

- ・押しを基本とする
- ・まわしを引きつける



試合での女子同士の取り組み
左の生徒は、押しの基本である中腰の構えで、相手を引きつけて前に出ようとしている。

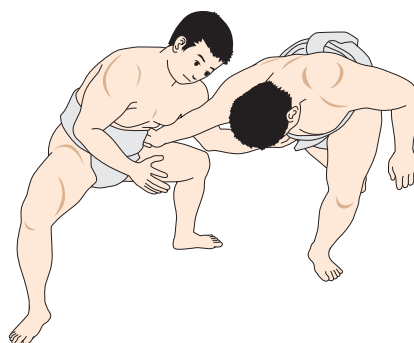
(3)投げ技（出し投げ）

<要点>

- ・相手のまわしの前の方を取って、投げる
- ・体を開いて横に出すように投げる

「上手出し投げ」

前に出て相手に圧力をかけて、相手が押し返してきたところで、タイミングよく体を開いて投げる。勝負が決まらなくても、相手がバランスを崩したところで前に出て、寄りとの連続技で攻めると良い。



(4)前さばき

ここでは、前さばきで使用するおっつけと巻き返しについて解説する。

①おっつけ

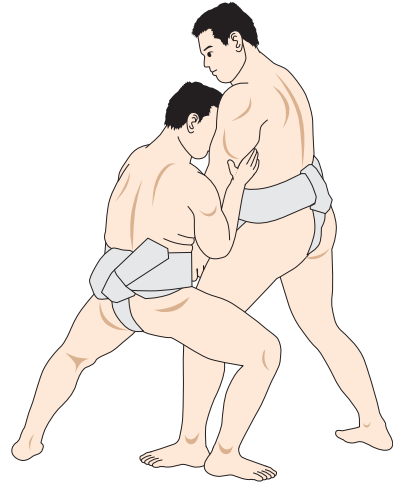
<要点>

- ・相手の肘に手を当てて、下から上へ押す
- ・脇をしめて、相手の差し手からの攻撃を防ぐ

「おっつけ」

右図では、相手が差ししてくるところを、押しの基本である中腰の構えから、脇をしめて、下から上に押し上げている。

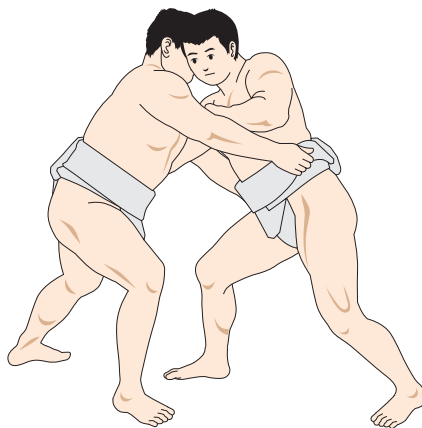
押し上げる際には、手だけで押し上げるのではなく、背中を丸めた構えから、足腰を使って押し上げるように行うと良い。



②巻き返し

<要点>

- ・上手を離し、相手の体と自分の体の間に空間をつくり、上手を下手に素早く入れかえる



「巻き返し」

左図は、右四つから、右側が巻き返しを行おうとしている例

上体を後方に引き、相手の上体と自分の上体の間に隙間をつくり、左腕を差し込もうとしている。成功すると有利な体勢になるが、相手に引きつけられて一気に前に出られることがあるので、タイミングが重要である。

4 安全管理・指導

(1)安全性確保のための確認事項

生徒が安全で楽しく相撲を学ぶために、指導者は、次のことを把握・確認する必要がある。

①単元開始前

- ・生徒の疾病等の確認
- ・事故発生時の対応手順の確認
- ・AED の設置場所、使用法の確認
- ・危険な体勢、ルールや禁止技、禁止事項の確認
- ・施設、用具の安全確認

②授業前

- ・校長、教頭、養護教諭の出勤状況の把握
- ・熱中症予防に関する確認
- ・施設、用具の安全確認（安全点検表の活用）

③授業中

- ・出欠席の確認
- ・生徒の健康状態の把握
- ・健康観察（学習ノート・カード）
- ・つめ、ヘアピン、めがね（相撲の取り組み時には外す）、服装（女子の下着で金属を前部に使用しているものについては、単元開始前に危険であることを伝える）等の確認
- ・準備運動（頸部のストレッチ・トレーニングを行い、ケガの防止に努める）
- ・整理運動
- ・ケガの有無の確認

④授業後

- ・施設、用具の整備（安全点検表の活用）

(2)安全面に配慮した指導法

次の安全面についての配慮をしながら、授業を進めることが必要である。

①段階的な指導

- ・基本動作 → 基本となる技 → 関連技術 → 相撲あそび → 簡易的な試合 → 試合

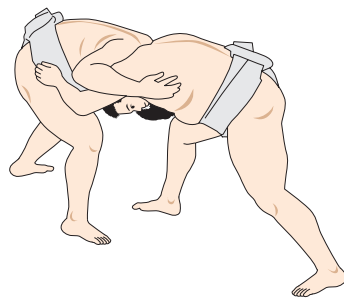
②動きの中での受け身を定着

- ・蹲踞相撲

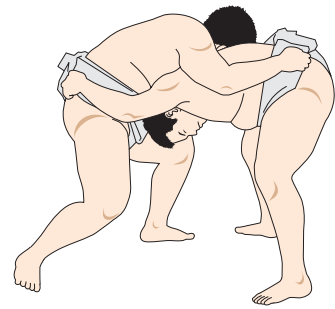
③ルールや禁止事項を工夫

- ・接触した状態からの試合
- ・仕切りでの両者の間隔を配慮した試合
- ・禁止されている技・行為の確認

④ 初心者に見られる無理な体勢や危険な状況の把握（具体例）



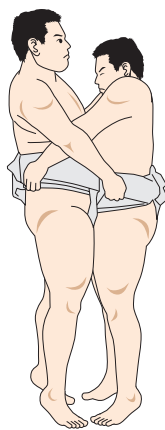
ラグビーのスクラムのように頭が互いに入り込む体勢（鴨の入れ首）



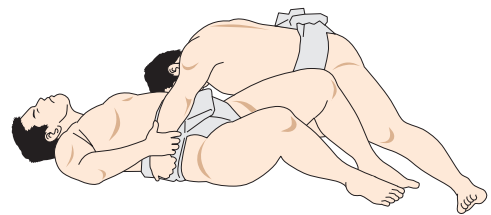
後頭部が相手の腹部の下に入ってしまう、上からのしかられる体勢

このような体勢になった場合は、取り組みを即座に中止させ、取り直しをさせる。

指導法としては、常に中腰の構えを意識して、頭をつける場合には、ひたいを相手の胸に当てるようにする。



お互いに体が伸びきった体勢

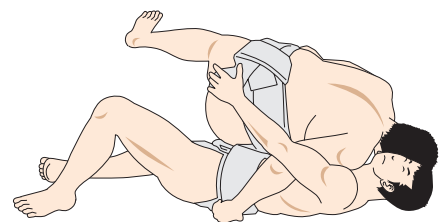


お互いに体が伸びきった体勢から真後ろに倒れると、後頭部を打つ場合がある

指導法としては、相撲を取る際は、膝が伸びきらないように注意し、転倒の際はあごを引き、背中を丸めるようにする。また、足を刈る技（外掛け、内掛け）は、禁止技とし、ルールを工夫し、転倒により頭部を打つことを回避する。



相手の体が完全に宙に浮いた体勢（二丁投げ）



相手が受け身を取れず、頭部を打つ場合がある

指導法としては、相手を持ち上げた場合、投げずに、土俵の外に運ぶ（吊り出し）ようにする。持ち上げられた場合は、無理に抵抗しない。また、二丁投げや吊り落とし、足取りなど、転倒の際、受け身が取れず、頭部を打つ可能性がある技については、禁止技にするなど、ルールを工夫することも必要である。

注）前頁のいずれのケースも、練習や試合の中でこのような体勢が見られた場合には、事故防止のために取り組みを即座に中止させる。特に授業の初期段階では、無理な体勢や危険な状況について、丁寧に指導することが望ましい。

(3)禁止事項等

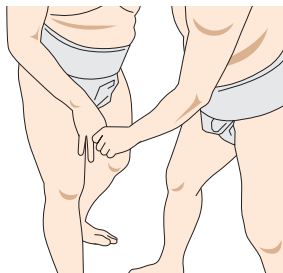
以下の事項を参考にし、ケガや事故の防止に努めながら授業を進めることが必要である。

①アマチュア相撲規程上の禁止事項

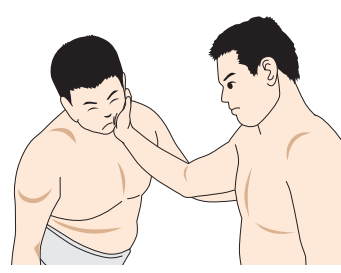
- ・こぶしで殴る ・胸部、腹部を蹴る ・急所（目、みぞおち）をこぶしまたは指で突く
- ・頭髪をつかむ ・のどをつかむ ・故意に着衣をつかむ（女子相撲の場合）
- ・噛む



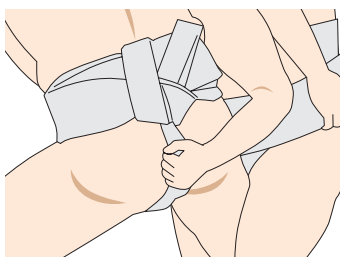
前ぶくろをつかむ、または横から指を入れて引く



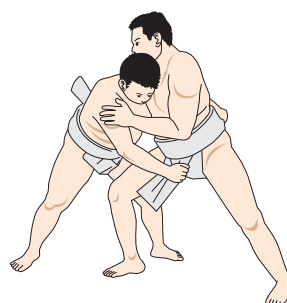
二指以下の指を折る



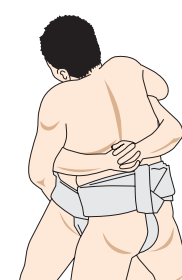
張り手



立てまわしをつかむ

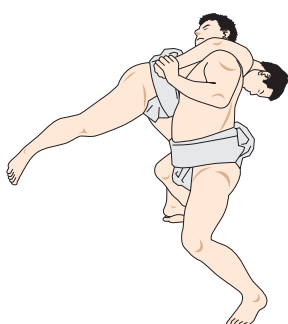


折り込みをつかむ

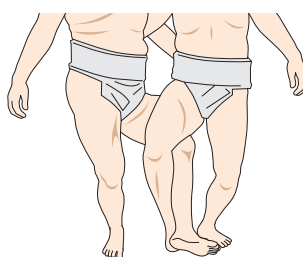


合掌に組む

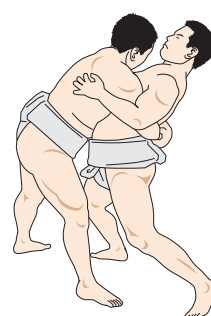
②アマチュア相撲（小・中学生）の規程上の禁止事項



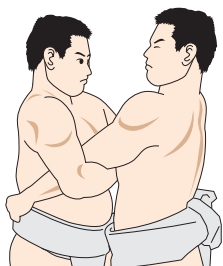
反り技



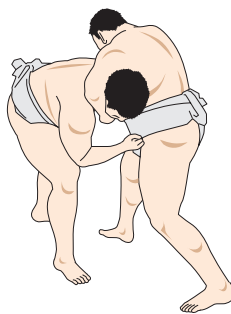
河津掛け



さば折り

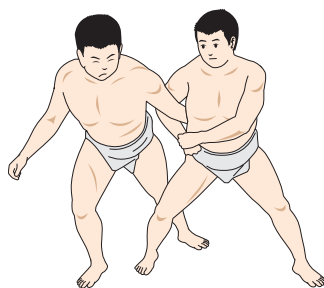


きめ出し、きめ倒し
(かんぬき)

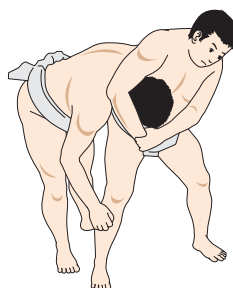


脇に入った相手の首を
きめる (抱え込む)

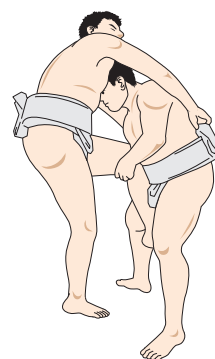
③授業で禁止することが望ましい技と行為
(関節・首をきめる投げ技)



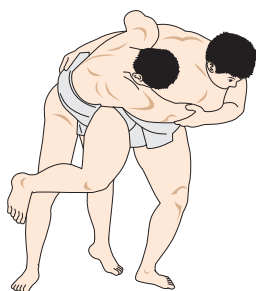
小手投げ



首投げ



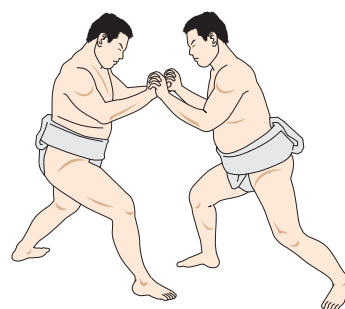
足取り



二丁投げ



内掛け



手四つ



かち上げ (肘で相手のあごを
突き上げる)

- ・蹴る技 (蹴たぐり、蹴返し)
- ・頭突き
- ・のど輪
- ・首から上への突っ張り

メモ

[illegible]

指導と評価の計画(第1学年)

		1	2	3	4	5		
指導内容		○技ができる楽しさや喜びを味わい、基本動作や基本となる技ができるようにする。また、相撲の学習に積極的に取り組み、伝統的な行動の仕方【技能】基本動作や基本となる技を用いて、押したり寄ったりするなどの攻防を展開できるようにする。 【態度】相撲に関心をもち、分担した役割を果たし、学習に積極的に取り組むとともに、礼法や所作など伝統的な行動の仕方【知識・思考・判断】相撲の特性や成り立ち、技の名称・方法について理解するとともに、技能の重要なポイントを見つけることができる。						
ねらい		<学習Ⅰ> ○運動の特性や学習のねらい、計画を理解しよう。		<学習Ⅱ> [ねらい1] ○中腰の構えの重要性に気づき、相撲の基本動作および基本となる技(押し、寄り)を学ぼう。 ○簡易的な試合を通して相撲に親しみ、積極的に活動に取り組もう。				
学習の流れ		1 学習の見通しを持つ。 ・運動の歴史や特性や楽しみ方を理解し、学習のねらいや計画をつかむ。 2 相撲の学習の準備を行う。 ・学習ノートの準備 ・施設用具の確認 3 相撲あそびを行う。 ・手押し相撲 ・手引き相撲	1 基本動作を身につける。 ・蹲踞姿勢 ・塵浄水 2 基本となる技の学習と簡易的な試合 ・押し ・陣取り相撲 自由な押し合いの中で、技能の重要なポイントを考える →“気づき”へ 3 学習のまとめと整理運動、片づけ	1 基本となる技の学習と簡易的な試合 ・押し ・陣取り相撲 効果的な方法を意識した練習 →「中腰の構え」の重要性に気づく 2 基本動作の学習 ・中腰の構え ・腰割り 3 簡易的な試合 ・陣取り相撲	1 基本動作を身につける。(復習として) ・中腰の構え ・腰割り 2 基本となる技の学習 ・押し [中腰の構え、すり足] 対人で約束練習をする。 3 基本動作の学習 ・四股 4 簡易的な試合 ・押し合い相撲	1 基本となる技の学習 ・押し ・寄り (約束練習) 2 基本動作の学習 ・運び足 3 簡易的な試合 ・押し合い相撲 ・寄り合い相撲		
				・安全性に配慮したルール・礼法の徹底				
評価機会等		関心・意欲・態度	相撲あそびに関心をもち、楽しんで取り組もうとしている。			簡易的な試合において、礼法や所作を行おうとしている。		
		思考・判断			簡易的な試合の中で低い姿勢(中腰の構え)の重要性に気づいている。			
		技能		基本動作(蹲踞姿勢、塵浄水)ができる。			基本動作(中腰の構え、運び足)ができる。	
		知識・理解						
		評価方法等	【関心・意欲・態度】については、主に授業中の生徒のようすの観察から実現状況を判断する。 【思考・判断】については、主に授業時の生徒の発言発表や学習ノートへの記述から実現状況を判断する。 【技能】については、主に授業中の生徒のできばえの観察や実技試験の実施により実現状況を判断する。 【知識・理解】については、主に授業後の学習ノートへの記述から実現状況を判断する。					

※評価機会等の欄の矢印は、その評価項目に対応した内容の指導期間を示している。(一時間で指導と評価を行う場合には矢印を付していない)

6	7	8	9	10
守ろうとすることができるとともに、相撲の特性や成り立ち、技の名称・方法などを理解し、課題に応じた運動の仕方を工夫できるようにする。 守ろうとする。				
<学習Ⅱ> 「ねらい2」 ○基本となる技(押し、寄り)を身につけるとともに、既習の技能を用いた攻防が展開できるようにしよう。 ○簡易的な試合で、礼法や所作を守ろう。 ○学習では、自己の役割を果たし、仲間と協力しながら、技の学び方を身に付けよう。 <学習Ⅲ> ○学習の成果を確認しよう。 ○次の学習に向けて、課題や手がかりを整理しよう。				
1 基本となる技の学習(復習として) ・押し ・寄り ・投げ技(出し投げ) 対人で約束練習をする。 2 基本動作の学習 ・仕切り ・立ち合い ・受け身 安全確保のためにも、受け身の学習は段階的に行う 3 簡易的な試合 ・基本となる技に限定した相撲 4 学習のまとめと整理運動、片づけ	1 基本動作の学習(復習として) ・四股 ・腰割り ・運び足 ・受け身 2 基本となる技の学習 ・押し ・寄り ・投げ技(出し投げ) (約束練習) 3 簡易的な試合 ・既習の技を中心とした相撲 競技方法・略式の審判法の説明 4 学習のまとめと整理運動、片づけ	1 基本動作の学習(準備運動、補強運動として) ・四股 ・腰割り ・運び足 ・受け身 2 基本となる技の学習 ・押し ・寄り グループ学習 ・仲間と協力して行う ・課題を明確にし、それに応じた練習方法で行う 3 簡易的な試合 ・既習の技を中心とした相撲(5人抜き戦) 禁止事項等の説明 4 学習のまとめと整理運動、片づけ	1 基本動作の確認(準備運動、補強運動として) 2 基本となる技の確認(試合前の技術確認として) 3 簡易的な試合 ・既習の技を中心とした団体戦(5人制) 4 学習のまとめと整理運動、片づけ	1 学習ノート、筆記試験など 相撲の基本的事項に関する知識 2 学習の成果の確認 ・映像視聴 ・表彰 3 学習成果の相互評価、発表 ・チームミーティング ・全体討議 ・教員による総括 4 学習のまとめ ・学習ノートをまとめる 5 片づけ
安全確保のために、受身の学習に積極的に取り組んでいる。	自己の役割を責任をもって果たそうとしている。	基本となる技(押し、寄り)ができる。	基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開できる。	相撲の基本的事項(特性や成り立ち、技の名称や行い方)について、書き出している。
		○	○	【知識・理解】学習ノートの記述および単元末テストの結果から実現状況を判断する。

(注) ・武道の伝統的な考え方

・相撲の伝統的な所作、礼法

・基本となる技の名称や方法

・正規の試合方法

・審判法

・運動観察と見取り

指導と評価の計画(第2学年)

		1	2	3	4	5	
指導内容		○技ができる楽しさや喜びを味わい、基本動作と基本となる技を用いて、相手の動きに応じながら、攻防を展開できるようにする。相手を尊重するいて理解し、健康・安全に気を配り課題に応じて学習活動の取り組みを工夫できるようにする。 【技能】基本動作や基本となる技(押し、寄り、前さばき、投げ技)ができるようにする。基本動作と基本となる技を用いて、相手【態度】相撲に積極的に取り組み、伝統的な行動の仕方を守り相手を尊重しようとするとともに、禁止事項を行わないなど健康【知識・思考・判断】武道の伝統的な考え方、技の名称や行い方、関連して高まる体力などについて理解するとともに、課題に応じて学習活					
ねらい		<学習Ⅰ> ○基礎知識を整理し、学習のねらい、計画を理解しよう。	<学習Ⅱ> [ねらい1] ○相撲の学習に積極的に取り組み、基本となる技とその関連技術を身に付けよう。 ○相撲の練習により高まる体力について理解しよう。			<学習Ⅱ> [ねらい2] ○基本動作および基本とな ○健康・安全に配慮し、互い ○技の名称や方法、高まる体	
学習の流れ		1 学習の見通しをもつ。 ・運動の基礎知識を確認し、学習のねらいや計画をつかむ。 特に礼法に関して重点的に学習する。 2 相撲の学習の準備を行う。 ・学習ノートの準備 ・施設用具の確認 3 簡易的な試合を行う。 ・踏蹴相撲 ・陣取り相撲 ・押し合い相撲	1 基本動作の学習(復習) 2 基本となる技とその関連技術の学習 ・押し ・寄り ・その関連技術	1 基本動作の学習(復習) 実戦に向けて、仕切りや受け身を重点的に行う。 2 基本となる技とその関連技術の学習 ・押し ・寄り ・その関連技術(約束練習)	1 関連して高まる体力についての学習 2 基本動作の学習 ・立ち合い ・受け身(復習) 3 基本となる技とその関連技術の学習 ・投げ技(出し投げ) ・その関連技術	1 基本動作を身につける ・四股 ・運び足 ・立ち合い ・受け身 2 基本となる技の学習 ・前さばき おっつけ 絞込み いなし 3 簡易的な試合 ・既習技に限定した相撲	相手の動きに応じて技を用いることができるよう実践的な技術を学ぶ (例)・低い姿勢から押し上げる ・上手は浅く、下手は深く取る ・前に出て相手に圧力をかけてから投げる 3 簡易的な試合 ・押し合い相撲 ・寄り合い相撲 略式の審判法 4 簡易的な試合 ・複数の基本となる技に限定した相撲 ・禁止事項等の設定・礼法の徹底・審判、記録等の役割分担 4 学習のまとめと整理運動、片づけ
評価機会等	関心・意欲・態度		楽しさや喜びを味わいながら、基本となる技(押し、寄り)の関連技術の学習に積極的に取り組もうとしている。	礼法、所作を行い、相手を尊重する態度を示そうとしている。			
	思考・判断					学習した安全上の知識を、練習や試合のさまざまな場面に活用している。	
	技能						
	知識・理解	前単元を振り返り、相撲の基本知識を言ったり書き出している。			相撲の練習により高まる体力について、書き出している。		
	評価方法等	【関心・意欲・態度】については、主に授業中の生徒のようすの観察から実現状況を判断する。 【思考・判断】については、主に授業時の生徒の発言発表や学習ノートへの記述から実現状況を判断する。 【技能】については、主に授業中の生徒のできばえの観察や実技試験の実施により実現状況を判断する。 【知識・理解】については、主に授業後の学習ノートへの記述から実現状況を判断する。					

※評価機会等の欄の矢印は、その評価項目に対応した内容の指導期間を示している。(1時間で指導と評価を行う場合には矢印を付していない)

	6	7	8	9	10
	とともに、仲間の学習を援助しようとすることができるようにする。武道の伝統的な考え方、技の名称や行い方、関連して高まる体力などにつ				
	の動きに応じながら、押したり寄ったりするなどの攻防を展開できるようにする。 ・安全に気を配り、仲間の学習を援助しようとすることができるようにする。 動の取り組み方を工夫することができるようにする。				
	る技を身につけ、相手の動きに応じて攻防を展開しよう。 に仲間の学習を援助し合いながら、自身の課題に応じた練習方法を選び、学習を進めよう。 力や試合の行い方を理解するとともに、礼法、所作を行い相手を尊重する態度を表し、武道の伝統的な考え方を学ぼう。				<学習Ⅲ> ○学習の成果を確認しよう。 ○次の学習に向けて、課題や手がかりを整理しよう。
	1 基本動作の学習 ウォーミングアップ、補強運動として四股、運び足、受け身を全員で行う 2 基本となる技とその関連技術を学習 ・寄りとその関連技術 ・前さばき ・巻き返し ・投げ技とその関連技術 約束練習、反復練習の方法を理解する 3 既習技、関連技術の整理確認 4 簡易的な試合 ・既習技に限定した相撲 5 学習のまとめと整理運動、片づけ	2 基本となる技の学習 基本となる技とその関連技術 グループ学習 ・押しグループと寄りグループに分かれる ・グループで話し合い、自主的に学習を進める 自由練習の方法を理解する 3 簡易的な試合 ・複数の技を用いた体格別の試合 〔略式の審判法〕 競技方法、審判法、係り・分担等の確認、禁止事項および礼法の確認 4 学習のまとめと整理運動、片づけ	2 簡易的な試合 ・試合方法および審判法の確認 ・団体戦 3 学習のまとめと整理運動、片づけ 禁止事項を行わないなど、安全に留意して簡易的な試合に取り組んでいる。	2 簡易的な試合 ・試合方法および審判法の確認 ・習熟度別個人戦 3 学習のまとめと整理運動、片づけ	1 学習ノート、筆記試験など 相撲の基本的事項に関する知識 2 学習の成果の確認 ・映像視聴 ・表彰 3 学習成果の相互評価、発表 ・チームミーティング ・全体討議 ・教員による総括 ・試合の行い方について ・武道の伝統的な考え方について 4 学習のまとめ ・学習ノートをまとめる。 5 片づけ
			○→		
		グループ学習の中で、自身の課題をさがし、その課題に応じた練習の方法を選んでいる。			
		○→			
	基本となる技（押し、寄り、出し投げ）と、その関連技術ができる。			相手の動きに応じながら、基本動作、基本となる技およびそれらの関連技術を用いて攻防を展開できる。	
	○→			○→	
					相撲の礼法・所作および武道の伝統的な考え方、技の名称や方法、試合の方法、相撲の練習により高まる体力について書き出している。
					○→

指導と評価の計画(第3学年)

	1	2	3	4	5	
指導内容	○技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本動作、基本となる技と得意技を用いて、相手の動きの変化に応じながら、攻防が展開できるようにする。また、伝統的な考え方や見取り稽古の仕方などについて理解し、課題に応じて学習活動の方法を工夫することができるようにする。 【技 能】得意技を身につける。基本動作と基本となる技ならびに得意技を用いて、相手の動きの変化に応じながら、押し寄りや受け身など相撲に自主的に取り組み、互いに助け合い、教え合おうとすることができる。健康、安全を確保し、伝統的な行動の仕方 【知識・思考・判断】伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などについて理解するとともに、自己やグループの課題					
ねらい	<学習Ⅰ> ○前単元で学んだ知識を整理するとともに、体力の高め方について学ぼう。 学習のねらい、計画を理解しよう。		<学習Ⅱ> [ねらい1] ○基本となる技を身に付け、簡易的な試合を楽しむことができるようにしよう。 ○簡易的な試合の中で、自己の役割を責任をもって果たすとともに、健康・安全を確保できるようにしよう。		<学習Ⅲ> [ねらい2] ○自ら進んで伝統的な行動 ○相手の動きの変化に応じ ○グループ学習では、自分に	
学習の流れ	1 学習の見通しをもつ。 本単元の学習のねらいや計画をつかむ。 ・学習ノートの準備 2 前単元で学習した知識を確認する。 ・技の名称や行い方、試合の行い方、武道の伝統的な考え方 3 相撲に必要な体力要素とその高め方を理解する。 ・必要な体力要素 ・トレーニング法など 4 簡易的な試合を行う。 ・既習技に限定した相撲	1 基本動作の学習(復習) ・立ち合いと受け身を重点的に 2 基本となる技の学習 ・押しとその関連技術(復習) ・寄りとその関連技術(復習) ・前さばき(復習) ・投げ技とその関連技術(復習) 新たな技として上手投げ、下手投げを学習する [寄ってから投げる、体を開いて投げる] 3 簡易的な試合 ・既習技に限定した相撲 ・審判等の役割の遂行 ・健康、安全の確保 ・伝統的な行動の仕方の理解 ・技能の習熟を念頭に(自由練習の前段階として)実施 4 学習のまとめと整理運動、片づけ	1 基本動作の学習(復習) ・立ち合いと受け身を重点的に 2 基本となる技の学習 ・押し、寄り(復習) ・吊り(約束練習) 3 簡易的な試合 ・既習技に限定した相撲 ・審判等の役割の遂行 ・健康、安全の確保 ・伝統的な行動の仕方の理解 ・技能の習熟を念頭に(自由練習の前段階として)実施 4 学習のまとめと整理運動、片づけ	1 基本動作の学習(復習) ・立ち合いと受け身を重点的に 2 基本となる技の学習 ・押し、寄り(復習) ・吊り(約束練習) 3 簡易的な試合 ・多様な技を用いた相撲 ・審判等の役割の遂行 ・健康、安全の確保 ・伝統的な行動の仕方の理解 ・技能の習熟を念頭に(自由練習の前段階として)実施 4 学習のまとめと整理運動、片づけ	1 基本動作の復習 ウォーミングアップ、 ・蹲踞姿勢 ・塵 2 得意技の学習 押し・寄りグループ ・自己の体力、能力、習 ・課題に合わせた練習 ・練習計画等を策定し、 計画立案および実際 運動観察の方法を学 3 試合 [正規の審判法] ・団体戦(5人または7人) ・正規の試合の方法 ・健康、安全の確保 4 学習のまとめと整理運動、片づけ	
関心・意欲・態度		簡易的な試合で、自己の役割を責任をもって自主的に果たそうとしている。		簡易的な試合で健康、安全を確保している。		
思考・判断					健康や安全を確保するために、習熟度や体調に応じて適切な練習方法を選んでいる。	
技能			基本となる技(投げ技)ができる。			
知識・理解	相撲に必要な体力要素とその高め方について、言ったり書き出したりしている。					
評価方法等	【関心・意欲・態度】については、主に授業中の生徒のようすの観察から実現状況を判断する。 【思考・判断】については、主に授業時の生徒の発言発表や学習ノートへの記述から実現状況を判断する。 【技能】については、主に授業中の生徒のできばえの観察や実技試験の実施により実現状況を判断する。 【知識・理解】については、主に授業後の学習ノートへの記述から実現状況を判断する。					

※評価機会等の欄の矢印は、その評価項目に対応した内容の指導期間を示している。(一時間で指導と評価を行う場合には矢印を付していない)

6	7	8	9	10
にする。相撲に自主的に取り組み、互いに助け合い、教え合えるようにする。健康、安全を確保するとともに、伝統的な行動の仕方を大切にでき たり崩したりするなど攻防を展開できるようにする。 を大切にすることができる。 に応じて学習活動の仕方を工夫することができる。				
の仕方を大切にしながら、勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わおう。 ながら、基本動作、基本となる技や得意技を用いて、攻防を展開しよう。 合った攻防の仕方を見付け、安全に配慮して仲間と教え合いながら、得意技を身に付けよう。				＜学習Ⅲ＞ ○相撲の学習で学んだ ことを整理し、各自がこ れからも継続的に相 撲を楽しむための関わり 方を考えよう。
補強運動としてグループごとに要点等を確認しながら行う 浄水 ・中腰の構え ・腰割り ・四股 ・運び足 ・仕切り ・受け身 ・立ち合い				
に分かれ、グループ学習を行う 熟度等に合せて攻防の仕方や得意技を選ぶ 方法等を工夫する 自主的に練習する の練習に当たっては、仲間と相談・協力して進める び、グループ学習の中で活かしていく		2 簡易的な試合 グループ別 個人リーグ戦 (無差別個人戦予選)	2 簡易的な試合 - 団体戦(5人または7人) - 無差別個人決勝戦	1 単元末の学習ノ ート、筆記試験 - 基本動作、基本とな る技、関連技術の名 称と方法 - 相撲の伝統的な行 動の仕方と武道の 伝統的な考え方 - 見取り稽古や運動 観察の方法 - 必要な体力要素と その高め方 - 正規の試合方法や 審判法
3 試合 個人戦(リーグ戦またはトーナメント戦)	3 試合 体格別個人戦	・見取り稽古の方法を理解し実践する ・自主的に健康、安全を管理する ・自ら伝統的な行動を大切にする ・武道の伝統的な考え方を意識する ・勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わう		2 学習の成果の確認 - 映像視聴 - 表彰 3 学習成果の相互評 価、発表 - グループミーティング - 全体討議 - 教員による総括
審判法の確認 ・伝統的な行動(礼法を含む)の実践 ・得意技の習熟に向けた仲間への助言と相互評価		3 学習のまとめと整理運動、片づけ	3 学習のまとめと整理運動、片づけ	4 片づけ
4 学習のまとめと整理運動、片づけ	4 学習のまとめと整理運動、片づけ 相手を尊重し、試合 の中で、伝統的な礼 法、所作を大切にし ようとしている。	3 学習のまとめと整理運動、片づけ 勝敗を競う楽しさや 喜びを味わいながら、 試合に自主的に取り 組もうとしている。	3 学習のまとめと整理運動、片づけ	4 片づけ
自己の技能・体力の程度に応じて、 自己に適した攻防の仕方や得意技 を選んでいる。				
相手の動きの変化に応じな がら、基本動作と基本とな る技ならびに得意技を用い て、攻防を展開している。				
相撲の礼法・所作およ び武道の伝統的な考え 方、技の名称や方法、試 合の方法、運動観察と 見取りの方法について 書き出している。				
【知識・理解】学習ノ ートの記述および単元末テ ストの結果から実現状況を 判断する。				

(注) ・武道の伝統的な考え方

・相撲の伝統的な所作、礼法

・基本となる技の名称や方法

・正規の試合方法

・審判法

・運動観察と見取り